

東浦町長 神谷明彦の町政レポート（第3号）



平成26年度も終わりに近づいてきました。前回のレポート以後、平成26年中に取り組んだこと、また、平成27年度予算の概要について報告させていただきます。

※この間に転居されたり状況が変わったりされた方もいらっしゃると思います。できるだけ住所やお名前を訂正するよう心掛けていますが、中には訂正しきれないケースもあります。万一失礼がありましたら、どうかお許してください。

住民投票条例案が否決されました

継続審査になっていた住民投票条例案が平成26年6月定例議会において、賛成5：反対11で否決されました。賛成理由は「住民意思を尊重」「正論だし、問題点もない」「制定するなら今」など。反対討論の内容は「急ぐ必要はない」「経費が掛かる」「他市町も制定していない」「町長の人気取りだ」など。残念ながら多くの議員の理解を得られませんでした。

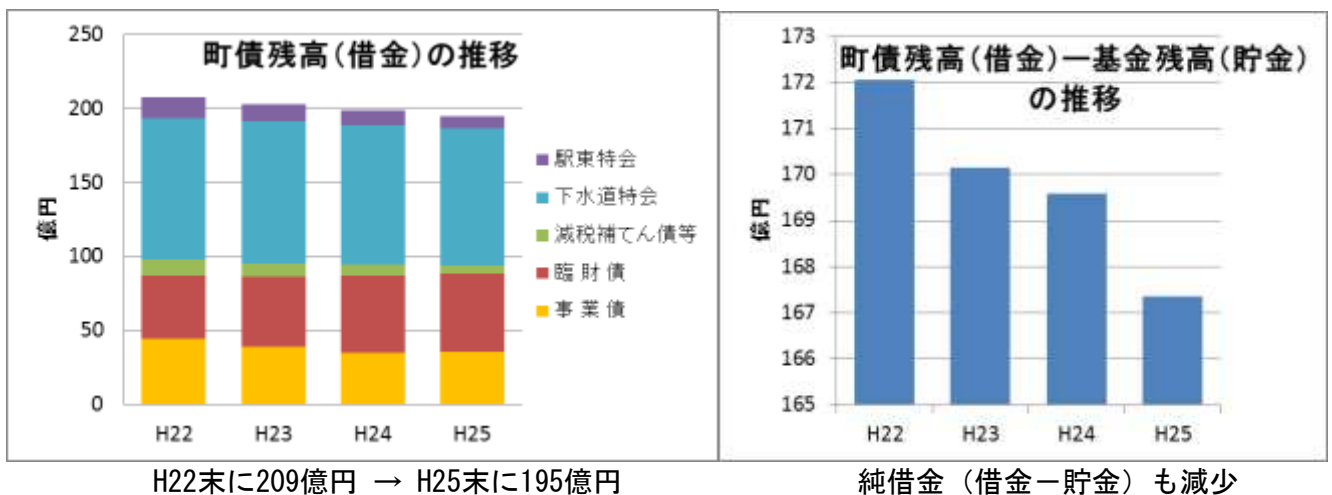
住民投票条例は、町の意味決定への住民の直接参加の権利を拡充し、間接民主主義の補完をするためのものです。私は、住民の代弁者が、住民の権利の拡充に後ろ向きであってはならないと思います。住民投票条例の必要性は引き続き訴えていきます。

平成25年度決算から 町債と基金

平成25年度決算は、一般会計の歳入総額約149億円、歳出総額約143億円で、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は約4.7億円の黒字となりました。25年度当初予算に盛り込んだことは計画通り執行することができました。特に、教育関係では、新学校給食センターが完成し、また、指導主事や学校生活支援員の増員を図り、学校教育環境の充実・改善に努めました。

財政面でも改善が見られています。私が就任した平成23年度から一貫して町の借金である町債残高が減り、一般会計と特別会計で平成23年度当初に209億円あった借金が195億円になりました。一方基金を取り崩していますので貯金は減っていますが、借金から貯金を差し引いた純借金についても、一貫して減少しています。

このように財務内容の改善がみられるようになったのは、事業仕分けや業務改善の効果が少しずつ表れてきたものと考えています。職員の頑張りにも感謝したいと思います。



平成26年に始めた新たな行政の動きなどをご紹介します

3月・・・JR東浦駅のバリアフリー化工事が完成

駅の跨線橋のエレベーターと、新しい多機能トイレが完成しました。従来の跨線橋の両側に建屋を設けエレベーターを据え付けた構造です。一日乗降客が3000人以上だと、国の補助が1/3もらえます。JR側の施工で工費は約1.5億円、そのうち東浦町も1/3の約5千万円を負担しました。

3月・・・新たな事業所が操業開始

エスツーアイ(株)と(株)松尾製作所が新たに事業所を建設し操業を開始しました。IT関連企業のエスツーアイは地元企業が町内で20年間操業していることを条件とした「企業再投資促進補助金」を活用して新たな業態を展開したものです。

7月・・・総合ボランティアセンター（なないろ）がオープン

勤労福祉会館の一角で福祉ボランティア向けにやっていたボランティアセンターを、緒川児童館の向かいの建物に拡張移設。より親しみやすい雰囲気情報交換や相談など、NPO、ボランティアや市民活動への支援を積極的に行っていきます。

7～8月・・・夏休みの補充授業が本格化

やり方や期間は学校により様々ですが、片葩小学校では、県内の教員志望の大学生をボランティアの「スクールパートナー」として数十名規模で迎え、算数の学習を指導してもらっています。図書室いっぱい集まった子どもたちは自主参加で、中には苦手な算数を克服したい子もいれば、算数が好きでもっと学びたい子もいます。

8月・・・メガソーラー発電所を設置運営する事業者を決定

かつてのゴミ埋立地を有効活用し、クリーンなエネルギーを生み出し、そして新たな収入源を確保するために、生路五号地2.4haで1.5MWの太陽光発電計画を進めています。平成28年度中に発電を開始し、発電事業者から土地賃貸料の形で、年間800万円ほどの収入を見込んでいます。



10月・・・緒川小学校区でトンネル見学ツアー

昔は、小川やドブが市街地の地上を流れていました。今では見当たりません。いったいどこに行ってしまったのでしょうか。・・・実は、道路の下などにもぐっているのです。そんな地下を流れる水路を実際に歩いてみよう、初の試みとして、小学生親子の暗渠探検を企画しました。参加者にはとても好評でした。好奇心を育てると同時に、安全意識、防災意識も身に付けてほしいと思います。

10月・・・名古屋大学大学院環境学研究科と連携・協力協定

行政施策の幅広い分野について、両者が共同研究・受託研究を推進するとともに、教育面において連携し、町政への助言を行うことにより、相互の発展に資することを目的としています。名古屋大学とこのような包括的な連携・協力協定を締結するのは、県内の市町村としては初めてです。

10～11月・・・住民懇談会を開催

各地区コミュニティセンターで住民懇談会を開催しました。行政の考えや進めていることを皆さんにお伝えするとともに、忌憚のない意見を住民のみなさんとキャッチボールするための試みです。地域社会の抱える課題やこれから訪れる超高齢化社会を乗り越えていくには、住民と行政の協働と、みんなでお互いを支え合える地域コミュニティの構築が欠かせません。

10～11月・・・図書館シンポジウムとよむらびカフェを開催

中央図書館が今まで以上に親しまれ、より魅力的な空間にするため、シンポジウムと住民参加型ワークショップ「よむらびカフェ」を開催しました。アイデアがいっぱい詰まった具体的な提案がたくさん出ました。集まった皆さんのパワーとこれからの可能性を感じる充実したワークショップになりました。27年度は集約した提案に基づいて楽しい図書館をつくっていきたいと考えています。

11月・・・一日プレーパークを開催

於大公園で、自己責任で自由に遊ぶ「プレーパーク（冒険遊び場）」を試行しました。焚き火、木登り、穴掘り、水の掛け合い、なんでもありだと思います。子どもたちが、異年齢同士で遊んで、自分で試行錯誤を繰り返すうちに、創造性や危険予知能力、合意形成力など、「生きる力」が身に付いて行くのだと思います。平成27年度は拡大実施していきます。

平成27年度予算案の概要

平成27年度の予算規模は、一般会計、4つの特別会計、水道事業会計を合わせて、233億円余で、平成26年度当初予算と比べて0.4%の微減となっています。一般会計は、141億円余で、平成26年度と比べて1.9%の減。緒川駅東土地区画整理事業特別会計は、事業完了で廃止となります。

税収は、25年度よりは伸びると見込んでいますが、法改正で法人住民税率が引き下げられること、また、26年度当初予算で過大な伸びを見込んで補正予算で下方修正をした経緯から、慎重な見込みをしており、平成26年度当初予算に比べて2.1億円の減としています。

一般会計に特別会計と水道事業会計を加えた全会計の27年度末町債残高は約185億円となる見込みです。23年度当初の町債残高が約209億円でしたから、20億円以上借金を減らせることとなります。なおかつ、福祉や教育の水準は維持しつつ、必要な施策を講じているつもりです。

各会計の当初予算額

会計名	27年度予算	26年度予算	比較	伸率	
一般会計	14,141,000	14,410,000	-269,000	-1.9%	
特別会計	国民健康保険事業	5,694,109	4,790,163	903,946	18.9%
	土地取得	705	375	330	88.0%
	後期高齢者医療	493,569	514,038	-20,469	-4.0%
	下水道事業	1,572,782	1,527,158	45,624	3.0%
	緒川駅東土地区画整理事業	0	641,922	-641,922	-100.0%
小計	7,761,165	7,473,656	287,509	3.8%	
一般会計・特別会計 計	21,902,165	21,883,656	18,509	0.1%	
水道事業会計支出	1,436,246	1,550,547	-114,301	-7.4%	
全会計 合計	23,338,411	23,434,203	-95,792	-0.4%	

当初予算案に計上した事業のほか、地方創生の先行事業（26年度補正予算を組んで27年度に繰り越し執行予定）を含めて、27年度に予定している主な新規事業としては、東浦のPRを目的として町外からのふるさと寄附への謝礼として町の特産品を進呈するふるさと寄附事業、住民からの協働事業提案やNPO設立支援のために新たに補助金を交付するパートナーシップ推進事業、国の地域消費喚起のための交付金を使ったプレミアム付商品券発行事業のほかに、高齢者いきいきマイレージ事業、ごみ出し支援事業、ニューエルダーの運動・スポーツ支援事業、高齢者社会参加促進事業など、高齢者の健康や地域参加に力点を置きました。高齢者社会参加促進事業は、会社勤めなどで地域とのつながりが希薄になりがちだった高齢者の地域デビューのお手伝いをするもので、いわば65歳の成人式。仲間づくりや地域活動や市民団体の紹介もできればと考えています。

防災関係では、緊急性の高い小中学校体育館天井落下防止工事、役場非常用発電機整備事業、農地に雨水貯留機能を持たせる田んぼダムの整備を考えています。子どもの成長や教育に関する分野では、プレーパークの拡大実施、図書館企画の充実、いじめ・不登校に対処することもと親の相談員事業を行います。また、懸案だった通学路でもある豆搗橋の歩道橋設置、西平地西之宮線の拡幅、新たな街路整備となる藤江線東区間の事業着手など、都市基盤整備にも配慮したものとなっています。

平成27年度に予定の主な新規事業

分野	事業名	予算額(千円)	事業概要
協働・地域振興	ふるさと寄附事業	3,204	東浦のPRを目的に、町外からのふるさと寄附への謝礼として東浦町の特産品を進呈します。
	パートナーシップ推進事業	899	住民による創意工夫を生かした協働事業提案やNPO設立支援のための補助金を交付します。
高齢者・健康	高齢者いきいきマイレージ事業	3,140	60歳以上の方が、検診、健康づくりや介護予防の活動に参加することでポイントを貯め特典が得られます。
	ごみ出し支援事業	1,560	自力でごみ出しが困難な高齢者や障がい者のみの世帯に対しごみ出しを支援します。
	ニューエルダーの運動・スポーツ支援事業	550	転倒リスク判定テストや成人用新体カテストを行い、団塊世代前後に運動のきっかけを提供します。
防災	小中学校整備事業(体育館天井改修工事)	358,655	災害時避難所となる小中学校体育館の天井落下防止のための耐震化工事を行います。
	非常用発電機整備事業	74,834	災害対策本部の運営に必要な電力を確保するために、役場の非常用発電機を増設更新します。
	農地整備事業(田んぼダム)	3,675	河川上流域にある水田に雨水貯留機能を持たせ、下流域の洪水を緩和します。
子育て・教育	公園整備事業(プレーパーク)	286	木登り、穴掘り、水遊びなど、子どもが自己責任で自由に遊べる冒険遊び場を拡大実施します。
	図書館deおとなタイム♪	339	図書館をより魅力的な場所にする活動として、コンサートや書評合戦など大人向けの企画を充実させます。
環境	全国都市緑化あいちフェア サテライト会場事業	5,847	緑化フェアのサテライトとして、役場、於大公園、自然環境学習の森で緑化イベントと環境整備を図ります。
	名古屋大学大学院環境学研究科連携事業	312	名古屋大学と連携して、ワークショップ形式による自然環境学習の森の基本計画の見直しをします。
都市基盤	都市計画道路整備事業	160,000	緒川南北線の用地購入、藤江線東区間(国道366号～バイパス)の予備設計をします。
	道路改良事業	80,524	通学路安全対策として、豆搗橋歩道橋設置、西平地西之宮線拡幅に着手します。
26年度補正分	プレミアム付商品券発行事業	40,930	国の地域消費喚起・生活支援型事業として、1.55億円分の20%割引商品券を商工会が発行します。
	人口ビジョン・地方創生戦略策定事業	6,612	27年度中に、人口ビジョンを踏まえ、まち・ひと・しごと創生総合戦略(5年計画)を策定します。
	ホームページ作成支援システム更新事業	15,133	使い勝手の良いホームページを効率的に作成するための作成支援システムを導入します。
	高齢者社会参加促進事業	1,980	65歳の方たちを対象に、記念式典、講演、懇親会などを行い仲間づくりと社会参加を促します。
	こどもと親の相談員事業	7,000	いじめ、不登校の早期発見、早期対策のための相談窓口を設け、積極的に訪問活動を行います。

自治基本条例を考えるシンポジウム「明日の東浦のために」を開催します

3月22日(日)13:30から、文化センターでシンポジウムを開催します。住民参加を柱とし、地域住民の皆さんと行政が協働して、互いに支え合える住民自治の仕組みを築いていきたいと思っております。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

平成27年3月9日

神谷明彦 東浦町生路弁財90

TEL 83-5122 E-mail kamiya-a@mbk.nifty.com

神谷あきひこ 公式ウェブサイト <http://homepage3.nifty.com/kamiya-a/>

つれづれログ(神谷明彦で検索可能) <http://kamiya-a.cocolog-nifty.com/turezure/>

Facebookにも投稿しています。遠慮なく、ご意見、ご感想をお寄せください。